

2023年9月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月1日

上場会社名 マルサンアイ株式会社 上場取引所 名
 コード番号 2551 URL https://www.marusanai.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)堺 信好
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理統括部長 (氏名)磯村 智 (TEL) (0564) 27-3700
 定時株主総会開催予定日 2023年12月14日 配当支払開始予定日 2023年12月15日
 有価証券報告書提出予定日 2023年12月14日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年9月期の連結業績 (2022年9月21日～2023年9月20日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期	30,950	0.8	△280	—	△256	—	△898	—
2022年9月期	30,699	—	236	—	257	—	142	—
(注) 包括利益	2023年9月期		△894百万円 (—%)		2022年9月期		175百万円 (—%)	

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年9月期	△393.71	—	△14.6	△1.0	△0.9
2022年9月期	62.55	—	2.2	1.0	0.8

(参考) 持分法投資損益 2023年9月期 △6百万円 2022年9月期 △7百万円

(注) 前連結会計年度の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日)等を適用しており、2022年9月期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっているため、対前期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭	円 銭	
2023年9月期	25,645	—	5,670	—	22.1	2,485.54	—	
2022年9月期	27,197	—	6,634	—	24.4	2,907.83	—	

(参考) 自己資本 2023年9月期 5,670百万円 2022年9月期 6,634百万円

(注) 前連結会計年度の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日)等を適用しており、2022年9月期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー		投資活動によるキャッシュ・フロー		財務活動によるキャッシュ・フロー		現金及び現金同等物期末残高	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	百万円	円 銭	百万円	円 銭
2023年9月期	675	—	675	—	△1,702	—	1,963	—
2022年9月期	2,423	—	△2,310	—	265	—	2,315	—

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭			
2022年9月期	—	0.00	—	30.00	30.00	68	48.0	1.0
2023年9月期	—	0.00	—	30.00	30.00	68	—	1.1
2024年9月期(予想)	—	0.00	—	30.00	30.00	—	32.1	—

3. 2024年9月期の連結業績予想 (2023年9月21日～2024年9月20日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
第2四半期(累計)	15,153	2.4	△51	—	△61	—	△32	—	—	△14.28
通期	31,168	0.7	342	—	323	—	214	—	—	93.47

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年9月期	2,296,176株	2022年9月期	2,296,176株
② 期末自己株式数	2023年9月期	14,797株	2022年9月期	14,688株
③ 期中平均株式数	2023年9月期	2,281,443株	2022年9月期	2,281,488株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)	13
(セグメント情報等)	16
(収益認識関係)	20
(1株当たり情報)	21
(重要な後発事象)	21

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に起因する行動制限の解除により経済活動の正常化が進み、景気の緩やかな回復がみられました。一方で、世界的な金融引き締めや急激な物価上昇等の影響による景気後退も懸念され、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

みそ業界におきましては、無添加みそや減塩みそ等、付加価値商品の構成比の増加がみられるものの、市場全体では厳しい状況が続いております。

豆乳業界におきましては、食品全般の物価上昇による消費者の買い控えの影響はあるものの、愛飲者のリピート購入や料理への活用等により需要が拡大している無調整豆乳を中心に、市場は底堅く推移しております。

このような環境の中で、当社グループは「健康で明るい生活へのお手伝い」を企業理念に定め、安全で安心できる製品の供給、企業活動を通じた社会貢献及びコスト削減に努め、経営基盤の強化に取り組んでまいりました。

この結果、売上高は、豆乳及び飲料が堅調に推移したため309億50百万円（前期比0.8%増）となりました。また、主原料である大豆をはじめとする原材料費の高騰、電力費、水道光熱費等の増加により、営業損失2億80百万円（前期は2億36百万円の利益）、経常損失2億56百万円（前期は2億57百万円の利益）、親会社株主に帰属する当期純損失8億98百万円（前期は1億42百万円の利益）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

① みそ事業

生みそ等の売上が減少したため、売上高は、43億17百万円（前期比6.2%減）となりました。

a. 生みそ

メディア露出の影響を受け「味の饗宴 無添加生750g」の出荷が急増しました。生みそ全体では、利益重視の販売戦略を展開したため、売上単価は上昇したものの数量が減少し、売上高は、34億33百万円（前期比4.2%減）となりました。

b. 調理みそ

利益重視の販売戦略を展開したため、売上高は、3億27百万円（前期比7.0%減）となりました。

c. 即席みそ

利益重視の販売戦略へ転換するため、品目数の削減を行った結果、売上高は、3億85百万円（前期比15.2%減）となりました。

d. 液状みそ

利益重視の販売戦略を展開したため、売上高は、1億70百万円（前期比20.6%減）となりました。

② 豆乳飲料事業

豆乳及び飲料が堅調に推移したため、売上高は、244億34百万円（前期比2.6%増）となりました。

a. 豆乳

主力製品である「調製豆乳カロリー45%オフ1000ml」、「毎日おいしい無調整豆乳1000ml」等が順調に推移したため、売上高は、216億26百万円（前期比2.8%増）となりました。

b. 飲料

甘酒やオーツミルク等が好調に推移したため、売上高は、28億7百万円（前期比1.0%増）となりました。

③ その他食品事業

「豆乳グルト」シリーズが順調に推移したものの、鍋スープについては、利益重視の販売戦略への転換により売上が減少したため、売上高は、21億90百万円（前期比3.5%減）となりました。

④ 技術指導料その他

技術指導料として、売上高7百万円（前期比52.8%減）を計上いたしました。

(2) 当期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

a. 資産

流動資産は、126億3百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億53百万円増加いたしました。増加の主な要因といたしましては、受取手形及び売掛金の増加5億21百万円等によるものであります。

固定資産は、130億42百万円となり、前連結会計年度末に比べ25億5百万円減少いたしました。減少の主な要因といたしましては、土地の減少12億91百万円等によるものであります。

この結果、資産合計は、256億45百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億51百万円減少いたしました。

b. 負債

流動負債は、120億13百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億49百万円減少いたしました。減少の主な要因といたしましては、支払手形及び買掛金の増加4億37百万円等に対し、短期借入金の減少12億82百万円等によるものであります。

固定負債は、79億61百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億38百万円減少いたしました。減少の主な要因といたしましては、長期借入金の減少4億12百万円等によるものであります。

この結果、負債合計は、199億75百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億88百万円減少いたしました。

c. 純資産

純資産合計は、56億70百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億63百万円減少いたしました。減少の主な要因といたしましては、利益剰余金の減少9億66百万円等によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ3億51百万円減少し、19億63百万円（前連結会計年度比15.2%減）となりました。各キャッシュ・フローの状況と主な要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、6億75百万円の収入（前連結会計年度は24億23百万円の収入）となりました。これは、売上債権の増加額5億21百万円等の支出に対し、減価償却費13億24百万円等の収入によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、6億75百万円の収入（前連結会計年度は23億10百万円の支出）となりました。これは、有形固定資産の取得による支出5億42百万円等に対し、有形固定資産の売却による収入12億88百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、17億2百万円の支出（前連結会計年度は2億65百万円の収入）となりました。これは、長期借入金の返済による支出13億41百万円等によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2019年9月期	2020年9月期	2021年9月期	2022年9月期	2023年9月期
自己資本比率	24.7%	25.0%	25.1%	24.4%	22.1%
時価ベースの自己資本比率	33.8%	35.3%	34.5%	31.5%	33.8%
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	4.2倍	3.7倍	12.0倍	3.7倍	10.8倍
インタレスト・カバレッジ・レシオ	64.0倍	72.6倍	23.3倍	78.6倍	19.6倍

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注) 1 いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

2 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

3 キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

4 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。

(4) 今後の見通し

みそ事業は、引き続き「量（ボリューム）」から「質（バリュー）」へ販売施策の転換を図るとともに、事業の再構築を進めることにより新たな価値の創造を図ってまいります。豆乳飲料事業は、付加価値商品の開発や新たなビジネスモデルへの挑戦によりブランド価値を高め、さらなる事業拡大と競争力の強化に取り組んでまいります。

今後も引き続き安全、品質、環境、衛生面において細心の注意を払い、安全で安心できる製品作りを目指していく所存であります。

2024年9月期通期の見通しにつきましては、売上高は311億68百万円(前連結会計年度比0.7%増)、営業利益は3億42百万円(前連結会計年度は2億80百万円の損失)、経常利益は3億23百万円(前連結会計年度は2億56百万円の損失)、親会社株主に帰属する当期純利益は2億14百万円(前連結会計年度は8億98百万円の損失)を予測しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際財務報告基準（IFRS）適用時期等につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年9月20日)	当連結会計年度 (2023年9月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,499,986	2,085,128
受取手形及び売掛金	4,598,004	5,119,283
棚卸資産	2,828,231	3,331,796
未収入金	1,252,360	1,756,852
その他	474,599	311,004
貸倒引当金	△2,711	△286
流動資産合計	11,650,471	12,603,778
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	12,359,452	12,397,296
減価償却累計額	△6,744,423	△7,299,555
建物及び構築物（純額）	5,615,028	5,097,740
機械装置及び運搬具	19,742,880	19,829,720
減価償却累計額	△15,912,827	△16,869,979
機械装置及び運搬具（純額）	3,830,053	2,959,740
土地	4,295,919	3,004,916
建設仮勘定	35,937	9,971
その他	943,903	977,879
減価償却累計額	△798,758	△870,633
その他（純額）	145,145	107,245
有形固定資産合計	13,922,083	11,179,615
無形固定資産	227,058	166,638
投資その他の資産		
投資有価証券	142,669	156,096
繰延税金資産	926,173	1,107,203
その他	340,119	443,469
貸倒引当金	△10,876	△10,887
投資その他の資産合計	1,398,085	1,695,881
固定資産合計	15,547,227	13,042,135
資産合計	27,197,698	25,645,914

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年9月20日)	当連結会計年度 (2023年9月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,949,048	4,386,396
短期借入金	1,482,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	1,284,267	1,355,579
未払法人税等	51,504	52,102
賞与引当金	392,933	323,592
未払金	3,944,534	4,161,565
その他	1,059,576	1,534,725
流動負債合計	12,163,865	12,013,960
固定負債		
長期借入金	6,074,591	5,661,886
退職給付に係る負債	1,284,622	1,310,319
資産除去債務	493,387	498,826
繰延税金負債	471,498	419,495
その他	75,406	70,797
固定負債合計	8,399,504	7,961,324
負債合計	20,563,369	19,975,285
純資産の部		
株主資本		
資本金	865,444	865,444
資本剰余金	637,851	637,851
利益剰余金	5,063,100	4,096,428
自己株式	△41,281	△41,690
株主資本合計	6,525,113	5,558,033
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,506	20,785
為替換算調整勘定	96,996	82,195
退職給付に係る調整累計額	556	9,454
その他の包括利益累計額合計	109,059	112,435
非支配株主持分	155	160
純資産合計	6,634,328	5,670,629
負債純資産合計	27,197,698	25,645,914

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年9月21日 至 2022年9月20日)	当連結会計年度 (自 2022年9月21日 至 2023年9月20日)
売上高	30,699,744	30,950,321
売上原価	22,694,012	23,854,551
売上総利益	8,005,731	7,095,769
販売費及び一般管理費	7,768,855	7,375,831
営業利益又は営業損失(△)	236,875	△280,061
営業外収益		
受取利息	12,162	11,802
受取配当金	3,881	31,361
為替差益	29,191	6,297
受取保険金	-	12,174
不動産賃貸収入	15,816	15,816
その他	22,305	19,013
営業外収益合計	83,357	96,466
営業外費用		
支払利息	30,931	34,608
シンジケートローン手数料	8,883	8,319
持分法による投資損失	7,850	6,509
債権売却損	13,429	13,046
控除対象外消費税等	-	9,122
その他	1,890	1,495
営業外費用合計	62,985	73,101
経常利益又は経常損失(△)	257,247	△256,696
特別利益		
固定資産売却益	342	5,936
特別利益合計	342	5,936
特別損失		
固定資産除却損	30,605	10,439
減損損失	-	533,569
製品自主回収関連費用	-	20,444
土地開発中止関連費用	-	272,754
投資有価証券売却損	162	-
特別損失合計	30,768	837,208
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	226,821	△1,087,969
法人税、住民税及び事業税	99,968	50,807
法人税等調整額	△15,867	△240,555
法人税等合計	84,101	△189,747
当期純利益又は当期純損失(△)	142,720	△898,221
非支配株主に帰属する当期純利益	12	5
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	142,707	△898,226

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年9月21日 至 2022年9月20日)	当連結会計年度 (自 2022年9月21日 至 2023年9月20日)
当期純利益又は当期純損失 (△)	142,720	△898,221
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,475	9,278
為替換算調整勘定	48,478	△13,204
退職給付に係る調整額	△21,082	8,898
持分法適用会社に対する持分相当額	12,158	△1,596
その他の包括利益合計	33,078	3,375
包括利益	175,798	△894,846
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	175,785	△894,851
非支配株主に係る包括利益	12	5

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2021年9月21日 至 2022年9月20日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	865,444	636,880	4,992,850	△41,281	6,453,893
会計方針の変更による累積的影響額			△4,013		△4,013
会計方針の変更を反映した当期首残高	865,444	636,880	4,988,837	△41,281	6,449,879
当期変動額					
剰余金の配当			△68,444		△68,444
親会社株主に帰属する当期純利益			142,707		142,707
連結子会社株式の取得による持分の増減		970			970
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	970	74,262	-	75,233
当期末残高	865,444	637,851	5,063,100	△41,281	6,525,113

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	17,982	36,360	21,639	75,981	1,612	6,531,487
会計方針の変更による累積的影響額						△4,013
会計方針の変更を反映した当期首残高	17,982	36,360	21,639	75,981	1,612	6,527,474
当期変動額						
剰余金の配当						△68,444
親会社株主に帰属する当期純利益						142,707
連結子会社株式の取得による持分の増減						970
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△6,475	60,636	△21,082	33,078	△1,457	31,620
当期変動額合計	△6,475	60,636	△21,082	33,078	△1,457	106,853
当期末残高	11,506	96,996	556	109,059	155	6,634,328

当連結会計年度(自 2022年9月21日 至 2023年9月20日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	865,444	637,851	5,063,100	△41,281	6,525,113
会計方針の変更を反映した当期首残高	865,444	637,851	5,063,100	△41,281	6,525,113
当期変動額					
剰余金の配当			△68,444		△68,444
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△898,226		△898,226
自己株式の取得				△408	△408
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	△966,671	△408	△967,080
当期末残高	865,444	637,851	4,096,428	△41,690	5,558,033

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	11,506	96,996	556	109,059	155	6,634,328
会計方針の変更を反映した当期首残高	11,506	96,996	556	109,059	155	6,634,328
当期変動額						
剰余金の配当						△68,444
親会社株主に帰属する当期純損失(△)						△898,226
自己株式の取得						△408
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	9,278	△14,801	8,898	3,375	5	3,380
当期変動額合計	9,278	△14,801	8,898	3,375	5	△963,699
当期末残高	20,785	82,195	9,454	112,435	160	5,670,629

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年9月21日 至 2022年9月20日)	当連結会計年度 (自 2022年9月21日 至 2023年9月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	226,821	△1,087,969
減価償却費	1,404,377	1,324,457
土地開発中止関連費用	-	272,754
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△708	△2,414
賞与引当金の増減額(△は減少)	5,583	△69,341
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	27,766	38,422
受取利息及び受取配当金	△16,044	△43,163
投資有価証券売却損益(△は益)	△2,288	-
持分法による投資損益(△は益)	7,850	6,509
支払利息	30,931	34,608
シンジケートローン手数料	8,883	8,319
為替差損益(△は益)	△17,870	△6,590
固定資産除却損	1,917	52
減損損失	-	533,569
売上債権の増減額(△は増加)	653,512	△521,434
棚卸資産の増減額(△は増加)	△855,076	△503,285
仕入債務の増減額(△は減少)	370,499	437,825
未収入金の増減額(△は増加)	△93,290	△504,491
未払金の増減額(△は減少)	△89,318	406,156
未収消費税等の増減額(△は増加)	168,435	49,307
その他	657,895	576,683
小計	2,489,878	949,975
利息及び配当金の受取額	6,440	50,635
利息の支払額	△30,823	△34,482
法人税等の支払額	△97,932	△48,192
法人税等の還付額	55,886	0
土地開発中止関連費用による支出	-	△242,208
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,423,449	675,727
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,276,332	△542,383
有形固定資産の売却による収入	342	1,288,574
無形固定資産の取得による支出	△56,694	△30,117
投資有価証券の取得による支出	△2,084	△452
投資有価証券の売却による収入	20,908	-
定期預金の預入による支出	△42,168	△221,278
定期預金の払戻による収入	41,698	180,908
差入保証金の差入による支出	△1,298	△2,891
差入保証金の回収による収入	1,081	2,327
その他	3,720	736
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,310,826	675,423

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年9月21日 至 2022年9月20日)	当連結会計年度 (自 2022年9月21日 至 2023年9月20日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△1,000	-
短期借入金の純増減額 (△は減少)	882,000	△1,282,000
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の売却による収入	500	-
長期借入れによる収入	800,000	1,000,000
長期借入金の返済による支出	△1,335,324	△1,341,393
シンジケートローン手数料支出	△8,514	△8,524
自己株式の取得による支出	-	△410
配当金の支払額	△68,444	△68,444
その他	△3,860	△1,955
財務活動によるキャッシュ・フロー	265,355	△1,702,728
現金及び現金同等物に係る換算差額	8,099	89
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	386,078	△351,488
現金及び現金同等物の期首残高	1,929,010	2,315,088
現金及び現金同等物の期末残高	2,315,088	1,963,600

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)

1 連結の範囲に関する事項

連結子会社の数 5社

連結子会社 株式会社匠美
株式会社玉井味噌
マルサンアイ鳥取株式会社
丸三愛食品商貿(上海)有限公司
マルサンアイ(タイランド)株式会社

すべての子会社を連結しております。

2 持分法の適用に関する事項

(1) 持分法を適用した関連会社数

1社

海寧市裕豊醸造有限公司

関連会社は1社であります。

(2) 持分法の適用について特に記載する必要があると認められる事項

当該会社の事業年度に係る財務諸表を使用しております。

3 連結子会社の事業年度等に関する事項

連結子会社のうち、丸三愛食品商貿(上海)有限公司の決算日は12月31日であります。

連結財務諸表の作成にあたっては、当該子会社の2023年6月30日現在で実施した仮決算に基づく財務諸表を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引については、連結上必要な調整を行っております。

また、マルサンアイ(タイランド)株式会社の決算日は6月30日であります。連結決算書類の作成にあたっては、同日現在の財務諸表を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引については、連結上、必要な調整を行っております。その他の連結子会社の事業年度の末日は、連結決算日と一致しております。

4 会計方針に関する事項

(1) 重要な資産の評価基準及び評価方法

① 有価証券

その他有価証券

市場価格のない株式等以外のもの

時価法(評価差額は、全部純資産直入法により処理し、売却原価は、移動平均法により算定)を採用しております。

市場価格のない株式等

移動平均法による原価法を採用しております。

② 棚卸資産

通常の販売目的で保有する棚卸資産

評価基準は原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)によっております。

商品・製品・原材料・仕掛品

総平均法

(2) 重要な減価償却資産の減価償却の方法

① 有形固定資産(リース資産を除く)

定率法によっております。

ただし、1998年4月以降に取得した建物(建物附属設備は除く)並びに2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については、定額法を採用しております。

なお、主な耐用年数は、次のとおりであります。

建物	17～38年
機械及び装置	10年

② 無形固定資産(リース資産を除く)

定額法によっております。

ただし、ソフトウェア(自社利用分)については、社内における見積利用可能期間(5年)に基づく定額法によっております。

③ リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によります。

④ 長期前払費用

均等償却によっております。

(3) 重要な引当金の計上基準

① 貸倒引当金

債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

② 賞与引当金

従業員の賞与の支給に備えるため、支給見込額及びそれに対応する社会保険料の会社負担額を計上しております。

(4) 退職給付に係る会計処理の方法

① 退職給付見込額の期間帰属方法

退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当連結会計年度末までの期間に帰属させる方法については、期間定額基準によっております。

② 数理計算上の差異及び過去勤務費用の処理方法

過去勤務費用は、その発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数(10年)による定額法により費用処理することにしております。

数理計算上の差異については、各連結会計年度の発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数(10年)による定額法により、それぞれ発生の翌連結会計年度から費用処理することにしております。

未認識数理計算上の差異及び未認識過去勤務費用については、税効果を調整の上、純資産の部におけるその他の包括利益累計額の退職給付に係る調整累計額に計上しております。

③ 小規模企業等における簡便法の採用

一部の連結子会社は、退職給付に係る負債及び退職給付費用の計算に、退職給付に係る期末自己都合退職要支給額を退職給付債務とする方法を用いた簡便法を適用しております。

(5) 連結キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

手許現金、要求払預金及び取得日から3ヶ月以内に満期日の到来する流動性の高い、容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なリスクしか負わない短期的な投資であります。

(6) 重要な収益及び費用の計上基準

当社グループでは、主に豆乳及び味噌の販売を行っており、これらの約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識しております。なお、企業会計基準適用指針第30号「収益認識に関する会計基準の適用指針」第98項における代替的な取扱い(出荷基準等の取扱い)を適用し、製品又は商品の国内の販売において、顧客による検収時までの期間が通常の場合の場合は、出荷時点で収益を認識しております。また、輸出による販売においては、インコタームズ等で定められた貿易条件に基づきリスク負担が顧客に移転した時点で収益を認識しております。なお、取引価格は顧客との契約において約束された対価から、リベート及び値引き等を控除した金額で測定しております。

取引の対価は履行義務を充足してから1年以内に受領しており、重要な金融要素は含まれておりません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち、分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源配分の決定及び業績を評価するために定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは、主として国内で大豆製品を中心とした食品の開発、製造及び販売をしております。

従って、当社グループは系列を考慮した製品別セグメントから構成されており、「みそ事業」「豆乳飲料事業」及び「その他食品事業」の3つを報告セグメントとしております。

「みそ事業」は、主に生みそ、調理みそ、即席みそ及び液状みそが対象となっております。

「豆乳飲料事業」は、主に豆乳、飲料及び水が対象となっております。

「その他食品事業」は、みそ及び豆乳飲料以外の食品が対象となっております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業報告セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、売上総利益に、販売費及び一般管理費の内、セグメント別に識別可能な費用を控除して算出しております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2021年9月21日 至 2022年9月20日)

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	みそ事業	豆乳飲料事業	その他食品 事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる 収益	4,604,269	23,808,447	2,270,075	30,682,792	16,952	30,699,744
外部顧客への売上高	4,604,269	23,808,447	2,270,075	30,682,792	16,952	30,699,744
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,604,269	23,808,447	2,270,075	30,682,792	16,952	30,699,744
セグメント利益又は損失(△)	117,486	4,763,638	△ 20,592	4,860,532	16,952	4,877,484
セグメント資産	1,782,935	9,976,855	1,248,458	13,008,249	4,789	13,013,038
その他の項目						
減価償却費	151,106	881,272	121,926	1,154,305	—	1,154,305
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	202,117	219,552	282,225	703,895	—	703,895

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、技術指導料を含んでおります。

当連結会計年度(自 2022年9月21日 至 2023年9月20日)

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	みそ事業	豆乳飲料事業	その他食品 事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる 収益	4,317,275	24,434,197	2,190,851	30,942,324	7,996	30,950,321
外部顧客への売上高	4,317,275	24,434,197	2,190,851	30,942,324	7,996	30,950,321
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,317,275	24,434,197	2,190,851	30,942,324	7,996	30,950,321
セグメント利益又は損失(△)	△ 57,556	4,321,933	18,192	4,282,568	7,996	4,290,564
セグメント資産	1,242,380	10,334,164	1,007,480	12,584,025	—	12,584,025
その他の項目						
減価償却費	146,317	827,940	131,268	1,105,526	—	1,105,526
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	122,209	204,918	9,054	336,183	—	336,183

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、技術指導料を含んでおります。

4 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	4,860,532	4,282,568
「その他」の区分の利益	16,952	7,996
全社費用(注)	△ 4,640,608	△ 4,570,626
連結財務諸表の営業利益又は営業損失(△)	236,875	△ 280,061

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

(単位：千円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	13,008,249	12,584,025
「その他」の区分の資産	4,789	—
全社資産(注)	14,184,659	13,061,889
連結財務諸表の資産合計	27,197,698	25,645,914

(注) 全社資産は、主に営業資産及び本社資産であります。

(単位：千円)

その他の項目	報告セグメント計		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度
減価償却費	1,154,305	1,105,526	250,072	218,931	1,404,377	1,324,457
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	703,895	336,183	1,421,220	1,896	2,125,116	338,079

(注) 減価償却費の調整額は、販売費及び一般管理費に帰属する減価償却費であります。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2021年9月21日 至 2022年9月20日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	豪州	その他	合計
26,653,178	3,255,434	791,131	30,699,744

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
伊藤忠商事株式会社	11,682,548	みそ事業、豆乳飲料事業及びその他食品事業
SPIRAL FOODS Pty. Ltd.	3,255,434	豆乳飲料事業

当連結会計年度(自 2022年9月21日 至 2023年9月20日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	豪州	その他	合計
27,172,496	3,028,256	749,567	30,950,321

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
伊藤忠商事株式会社	11,661,972	みそ事業、豆乳飲料事業及びその他食品事業
SPIRAL FOODS Pty. Ltd.	3,028,256	豆乳飲料事業

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2021年9月21日 至 2022年9月20日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2022年9月21日 至 2023年9月20日)

(単位：千円)

	報告セグメント				その他	全社	合計
	みそ事業	豆乳飲料事業	その他食品事業	計			
減損損失	533,569	—	—	533,569	—	—	533,569

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項（セグメント情報等）」に記載の通りであります。

(1株当たり情報)

項目	前連結会計年度 (自 2021年9月21日 至 2022年9月20日)	当連結会計年度 (自 2022年9月21日 至 2023年9月20日)
1株当たり純資産額	2,907円83銭	2,485円54銭
1株当たり当期純利益金額又は 1株当たり当期純損失金額(△)	62円55銭	△393円71銭

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式がないため記載しておりません。
2 算定上の基礎

1株当たり純資産額

項目	前連結会計年度 (2022年9月20日)	当連結会計年度 (2023年9月20日)
連結貸借対照表の純資産の部の合計額	6,634,328千円	5,670,629千円
普通株式に係る純資産額	6,634,173千円	5,670,468千円
差額の内訳 非支配株主持分	155千円	160千円
普通株式の発行済株式数	2,296,176株	2,296,176株
普通株式の自己株式数	14,688株	14,797株
1株当たり純資産額の算定に用いられた 普通株式の数	2,281,488株	2,281,379株

1株当たり当期純利益金額

項目	前連結会計年度 (自 2021年9月21日 至 2022年9月20日)	当連結会計年度 (自 2022年9月21日 至 2023年9月20日)
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失 (△)	142,707千円	△898,226千円
普通株主に帰属しない金額	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益又は親会社株主に帰属 する当期純損失(△)	142,707千円	△898,226千円
普通株式の期中平均株式数	2,281,488株	2,281,443株

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2023年9月期決算発表（連結）【参考資料】

マルサンアイ株式会社
(コード番号 2551 名証メイン市場)

1. 業績の推移

(%表示は対前期増減率)

	2022年9月期		2023年9月期		2024年9月期(予想)	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
売上高	30,699	—	30,950	0.8	31,168	0.7
営業利益	236	—	△280	—	342	—
経常利益	257	—	△256	—	323	—
当期純利益	142	—	△898	—	214	—

(注) 2022年9月期第1四半期連結会計期間の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用しており、2022年9月期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっているため、対前期増減率は記載しておりません。

2. セグメント別売上高の推移

(%表示は対前期増減率)

	2022年9月期		2023年9月期		2024年9月期(予想)	
	百万円	百万円	百万円	%	百万円	%
生みそ	3,582	△2.3	3,433	△4.2	2,706	△21.2
調理みそ	352	△4.4	327	△7.0	293	△10.4
即席みそ	454	△2.0	385	△15.2	130	△66.0
液状みそ	214	6.7	170	△20.6	90	△46.8
みそ事業計	4,604	△2.0	4,317	△6.2	3,221	△25.4
豆乳	21,027	2.6	21,626	2.8	22,816	5.5
飲料	2,780	7.0	2,807	1.0	3,052	8.7
豆乳飲料事業計	23,808	3.1	24,434	2.6	25,869	5.9
その他食品事業	2,270	△0.4	2,190	△3.5	2,078	△5.1
技術指導料その他	16	△9.3	7	△52.8	—	—
合計	30,699	2.0	30,950	0.8	31,168	0.7

3. 財政状態の推移

	2022年9月期		2023年9月期		2024年9月期(予想)	
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
総資産	27,197		25,645		24,978	
純資産	6,634		5,670		5,814	
自己資本比率	24.4%		22.1%		23.3%	
1株当たり純資産	2,907円83銭		2,485円54銭		2,532円29銭	

4. キャッシュ・フローの推移

	2022年9月期		2023年9月期		2024年9月期(予想)	
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,423		675		1,219	
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,310		675		△402	
財務活動によるキャッシュ・フロー	265		△1,702		△786	
現金及び現金同等物 期末残高	2,315		1,963		2,116	

5. 配当の状況

	2022年9月期		2023年9月期		2024年9月期(予想)	
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
1株当たり配当額	30.0円		30.0円		30.0円	
配当性向	48.0%		—		32.1%	

6. 設備投資額及び減価償却費の推移

	2022年9月期		2023年9月期		2024年9月期(予想)	
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
設備投資額	2,125		338		431	
減価償却費	1,404		1,324		1,222	

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。